

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なかよしのき	4	<p>□挿絵を見ながら気づいたことを話し、話を想像しながら物語を楽しむとともに、国語学習への関心や意欲をもつ。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)イ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	○姿勢や口形、発声に注意して話している。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。
たのしいいちにち	2	<p>◇学校生活のさまざまな場面の挿絵をもとに、挨拶の言葉を考え、場面に合わせた挨拶ができるようにする。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ</p> <p>◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア</p> <p>◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ</p> <p>◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア</p> <p>☆道徳:B礼儀 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する</p>	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	○積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって挨拶をしようとしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

わたしの なまえ	2	<p>◇自己紹介の場面の挿絵をもとに、話し方や聞き方について話し合い、言語生活を広げる。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ</p> <p>◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ</p> <p>◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒思判表A(1)エ</p> <p>◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア</p> <p>☆道徳・特別活動:自己紹介をし、みんなに自分のことを知ってもらう。</p>	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	○積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって名前を紹介し合おうとしている。
おはなし たくさん ききたいな	2	<p>△さまざまな本の読み聞かせをとおして、読書への関心を高める。</p> <p>△読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。⇒◎知技(3)エ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。
こえの おおきさ どれくらい	1	<p>◇挿絵をもとに、場面に応じた話し声の大きさを意識する。</p> <p>◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ</p> <p>◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア</p>		○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	○積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって話そうとしている。
かいて みよう	3	<p>△正しい鉛筆の持ち方、正しい姿勢に気をつけて線をなぞったり文字を書いたりする。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使</p>	○平仮名を読み、書いている。		○進んで平仮名を読んだり書いたりし、学習課題にそって言葉を書こうとしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>こえを あわせて あいうえお</p>	<p>1</p>	<p>◇「こえを あわせて あいうえお」を、姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意してはっきりした発音で読む。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ</p> <p>◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確か</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。</p>	<p>○積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
<p>あいうえお</p>	<p>1</p>	<p>△母音や簡単な平仮名の読み方、書き方を理解する。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)ウ</p>	<p>○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。</p>		<p>○積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって声に出して読もうとしている。</p>
<p>みつけて はなそう、たのしく きこう</p>	<p>3</p>	<p>◇挿絵から見つけた話題にそって話し、相手の話題に対して、簡単なことを尋ねたり、応答したりする。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ◇互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。⇒◎思判表A(1)オ</p> <p>◇尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。⇒思判表A(2)イ</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。</p>	<p>○積極的に互いの話に関心を持ち、学習の見通しをもって尋ねたり応答したりしようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

かき、かぎ	2	<p>△清音と濁音、半濁音の違いを理解して、正しく読んだり書いたりし、主語と述語の関係や文の終わりに句点がつくことを理解し、正しく文を書く。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○積極的に濁音・半濁音の表記、句点の打ち方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。</p>
ことばを あつめよう	2	<p>△言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、つながる言葉を考えて読んだり、書いたりする。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)ウ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。</p>		<p>○進んで身近なことを表す語句の量を増やし、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p>
くまさんと ありさんのごあいさつ	3	<p>□登場人物の様子を考えながら、楽しく音読する。</p> <p>△丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。⇒知技(1)キ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p>	<p>○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

ねこ、ねっこ	2	<p>△促音の読み方と書き方を理解し、句読点の使い方を理解する。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒◎知技(1)カ</p> <p>△丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。⇒知技(1)キ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○文の中における主語と述語との関係に気付いている。</p>	<p>○積極的に促音の表記、読点の使い方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。</p>
ほんを よもう	3	<p>△読みたい本を探して読んだり、読んだ本について友達や先生に話したりして、読書を広げる。</p> <p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。⇒知技(3)ア</p> <p>△読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。⇒◎知技(3)エ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>		<p>○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を伝え合おうとしている。</p>
ことばを つなごう	2	<p>△言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、つながる言葉を考えて読んだり、書いたりする。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)ウ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○進んで身近なことを表す語句の量を増し、学習課題に沿って読んだり書いたりしようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>たのしく よもう1 あいうえおの うた</p>	<p>1</p>	<p>△様子を思い浮かべながら、リズムよく音読する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>		<p>○進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
<p>ごじゅうおん</p>	<p>1</p>	<p>△五十音表を見て、これまでに学んだ平仮名の学習を振り返るとともに、五十音表の基本的な特徴に気づく。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記の仕方を理解して文や文章の中で使っている。また、また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に平仮名を読み、今までの学習を生かして五十音表の特徴に気づこうとしている。</p>
<p>けむりの きしゃ</p>	<p>5</p>	<p>□文章と挿絵を結びつけながら、場面の様子について人物の行動を中心に想像を広げながら読む。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)ウ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p>	<p>○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている。</p>
<p>のばす おん</p>	<p>2</p>	<p>△長音の読み方と書き方を理解する。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に長音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>せんせい、あのね</p>	<p>2</p>	<p>■話し言葉がそのまま文になることを知り、先生に話しかけるかたちの簡単な文章を書くとともに、敬体の文章に慣れるようにする。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)ウ</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒◎知技(1)カ</p> <p>△丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。⇒知技(1)キ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p> <p>☆生活科・特別活動:敬体や方言を使ったり、書いたりした文を見直しながら、相手にわかりやすいように書いて知らせる。</p> <p>☆道徳:友達が書いたものよいところを見つける。</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気付いている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○進んで主語と述語との関係に気付こうとし、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。</p>
<p>みんなに はなそう</p>	<p>4</p>	<p>◇身近なことや経験したことから話題を決め、必要なことを思い出して、順序を考えて話す。</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ</p> <p>△丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。⇒◎知技(1)キ</p> <p>◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア</p> <p>◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒思判表A(1)エ</p> <p>◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア</p>	<p>○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。</p>	<p>○積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付け、今までの学習を生かして身近なことを話そうとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>たのしく よもう 2 がぎぐげごの うた</p>	<p>1</p>	<p>△様子を思い浮かべながら, リズムよく音読する。 △音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>		<p>○進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け, 学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
<p>よく みて かこう</p>	<p>3</p>	<p>■身近なものを観察し, 気づいたことを簡単な絵や文で表し, 書いたものを読み合せて感想を伝え合う。 △言葉には, 事物の内容を表す働きや, 経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア ■文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり, 観察したことを記録したりするなど, 見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ☆生活科: 観察カードを書く学習に生かすことができる。</p>	<p>○言葉には, 事物の内容を表す働きを伝える働きがあることに気付いている。</p>	<p>○「書くこと」において, 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○進んで経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 学習の見通しをもって記録する文章を書くようとしている。</p>
<p>すずめの くらし</p>	<p>6</p>	<p>□問いの文や写真に導かれながら, すずめについて説明した文章を読む。 △長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ △読書に親しみ, いろいろな本があることを知ること。⇒知技(3)エ □時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)ア □文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。⇒思判表C(1)ウ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ □事物の仕組みを説明した文章などを読み, 分かったことや考えたことを述べる活動。⇒思判表C(2)ア</p>	<p>○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書いている。</p>	<p>○「読むこと」において, 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えている。</p>	<p>○積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉え, 学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>しや, しゆ, しよ</p>	<p>2</p>	<p>△拗音や拗長音に注意して, 身のまわりから言葉を見つけ, 正しく読んだり書いたりする。</p> <p>△音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p>	<p>○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また, 平仮名を読み, 書くとともに, 文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に拗音の表記の仕方を理解し, 学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>たのしく よもう 3 きやきゆきよの うた</p>	<p>1</p>	<p>△様子を思い浮かべながら, リズムよく音読する。</p> <p>△音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>		<p>○進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け, 学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>しらせたい ことを かこ う</p>	<p>12</p>	<p>■身近なできごとや経験から知らせたいことを選び, 簡単な文章を書く。</p> <p>△長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にすること。⇒思判表◎B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり, 観察したことを記録したりするなど, 見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p> <p>☆生活科・特別活動:敬体や方言を使ったり, 書いたりした文を見直しながら, 相手にわかりやすいように書いて知らせる。 ☆道徳:友達が書いたもののよいところを見つける。</p>	<p>○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において, 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○積極的に長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方を理解し, 学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。</p>
<p>は、を、へ</p>	<p>1</p>	<p>△助詞の表記と語中の表記とを区別して理解する。</p> <p>△長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど, 感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p> <p>☆生活科:見つけたことや気づいたことを 文章に書く。</p>	<p>○助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また, 平仮名を読み, 書くとともに, 文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方を理解し, 学習の見通しをもって簡単な文を書こうとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>とよかんへ いこう</p>	<p>2</p>	<p>△図書館の基本的な利用方法を知り, 興味のある本を探したり, 紹介し合ったりする。</p> <p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして, 我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒知技(3)ア</p> <p>△読書に親しみ, いろいろな本があることを知ること。 ⇒◎知技(3)エ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして, 内容や感想などを伝え合ったり, 演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>○読書に親しみ, いろいろな本があるを知っている。</p>		<p>○積極的に読書に親しみ, 学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。</p>
<p>おはなしの くに</p>	<p>2</p>	<p>△挿絵を見ながら昔話などに興味をもち, 読書をする。</p> <p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして, 我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒知技(3)ア</p> <p>△読書に親しみ, いろいろな本があることを知ること。 ⇒◎知技(3)エ</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉えること。 ⇒◎思判表C(1)イ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして, 内容や感想などを伝え合ったり, 演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>○読書に親しみ, いろいろな本があるを知っている。 (〔思考力, 判断力, 表現力等〕Cイ)</p>	<p>○「読むこと」において, 場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉えている。</p>	<p>○積極的に読書に親しみ, 学習の見通しをもって本を読もうとしている。</p>
<p>おおきな かぶ</p>	<p>6</p>	<p>□繰り返しの展開を楽しみながら, 場面の様子について, 登場人物の行動を中心に想像を広げて読む。</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒◎知技(1)ク</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉えること。 ⇒◎思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして, 内容や感想などを伝え合ったり, 演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>		<p>○進んで場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉え, 学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

えにつき	4	<p>■身のまわりのできごとや経験したことを、絵と文で表現する。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考へること。⇒思判表◎B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ</p> <p>■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)イ</p> <p>☆生活科・特別活動:日常生活の中から、楽しかったことやおもしろかったことを見付ける。</p>	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考へている。	○積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考へ、今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。
なつのおもいでを はなそう	5	<p>◇相手の話の内容を受けて話したり、自分からすすんで話したりする。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ</p> <p>◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア</p> <p>◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考へること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ</p> <p>◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒◎思判表A(1)エ</p> <p>◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア</p>	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 <p>○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。</p>	○積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習の見通しをもって質問や感想を言おうとしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

かたかなの ことば	2	<p>△身のまわりの片仮名で書く言葉や表記を理解し、正しく書く。</p> <p>△長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p> <p>☆生活科:身のまわりの自然や食べ物, 道具に興味をもつ</p>	<p>○片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に片仮名で書く語の種類を知り, 学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p>
けんかした 山	6	<p>□場面の様子を想像しながら, お話を読む楽しさを味わう。</p> <p>△第1学年においては, 別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み, 漸次書き, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして, 内容や感想などを伝え合ったり, 演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳:けんかした経験を出し合ったり, 登場人物の気持ちを想像したりして, 相手</p>	<p>○当該学年に配当されている漢字を読んでいる。</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において, 場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉えている。</p>	<p>○進んで場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉え, 学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたりしようとしている。</p>
(みんなで たのしく よみましょう。)	2	<p>□役割を決めてグループで音読する。</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉えること。⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒◎思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして, 内容や感想などを伝え合ったり, 演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において, 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>○進んで文章を読んで感じたことを共有し, 学習の見通しをもって役割を決めて音読しようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>かん字の はじまり</p>	<p>3</p>	<p>△漢字には、絵からできたものとしるしからできたものがあることを理解する。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>○当該学年に配当されている漢字を読んでいる。</p>		<p>○進んで当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>だれが、たべたのでしょうか</p>	<p>7</p>	<p>□問いの文と答えの文や写真と文の対応に気をつけながら、動物の食べ跡について説明した文章を読む。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)ウ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒◎知技(1)カ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク □時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)ア □文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。⇒思判表C(1)ウ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。</p>	<p>○積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを話そうとしている。</p>
<p>たのしかった ことをかこう</p>	<p>13</p>	<p>■日常生活の中から書くことを見つけ、簡単な文章を書く。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えると。⇒◎思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけると。⇒思判表B(1)オ</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>	<p>○進んで経験したことから書くことを見つけ、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

かぞえうた	2	<p>△数え歌をもとにして、漢字を使った数の読み方に慣れるようにする。</p> <p>△第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p> <p>△長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。⇒◎知技(3)イ</p> <p>☆音楽科:手拍子などで拍子をとりながらリズムよく読む。</p>	<p>○当該学年に配当されている漢字を読んでいる。</p> <p>○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。</p>		<p>○進んで言葉遊びに親しみ、学習の見通しをもってリズムよく音読しようとしている。</p>
かぞえよう	3	<p>△一から十までの漢数字を正しく読み、書く。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p> <p>☆算数科:正しい読み方で十までの数を数える。個数や順番を正しく数えたり表したりする。</p>	<p>○当該学年に配当されている漢字を読んでいる。</p>		<p>○進んで漢字を読み、学習の見通しをもって文や文章の中で使おうとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校



教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
しを よもう あめの うた	2	<p>□イメージの広がりや音読をとおして、詩を楽しむ。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
見つけたよ、いきもののひみつ	6	<p>■生き物と触れ合ったことや見聞きしたことを思い出して書く。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。
一 かかっていることを たしかめよう	15	□■自動車の「やくわり」と「つくり」に気をつけて読み、乗り物のことを紹介する文章を書く。			

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>はたらく じどう車</p>	<p>5</p> <p>□「やくわり」と「つくり」に気をつけて、はたらく自動車について説明した文章を読む。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ</p> <p>△丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。⇒知技(1)キ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒知技(1)ク</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>□時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)ア</p> <p>□文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。⇒◎思判表C(1)ウ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。</p> <p>○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。</p>	<p>○進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。</p>
<p>「のりものカード」でしらせよう</p>	<p>10</p> <p>■乗り物について、カードを用いて順序にそって簡単な構成の説明の文章を書く。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒◎思判表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒思判表B(1)エ</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>	<p>○進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「のりものカード」を書こうとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

えを見ておはなししよう	5	<p>◇絵を見て話題を見つけ、友達と話したり、友達の話を受けて答えたりする。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p> <p>◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア</p> <p>◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ</p> <p>◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒思判表A(1)エ</p> <p>◇互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。⇒思判表A(1)オ</p> <p>◇尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。⇒思判表A(2)イ</p>	○身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。	進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。
かん字のひろば① 日づけとよう日	2	<p>△日付と曜日を表す漢字を正しく読む。</p> <p>△第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	○当該学年に配当されている漢字を読んでいる。		○積極的に漢字を読み、学習課題に沿って音読しようとしている。
ニしゃしんと文から、だれがなにをしたかをたしかめよう	16	□■写真と文から誰が何をしたかを読み、写真から言葉を想像してお話を書く。			

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>うみへの ながい たび</p>	<p>10</p> <p>□白くまの様子を考えながら声に出して読み、写真と文から、誰が何をしたかを確かめる。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p> <p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具</p>	<p>○進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。</p>
<p>きこえて きたよ、こんな ことば</p>	<p>6</p> <p>■写真をもとに、ふきだしの中の言葉を考えて、お話を書く。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考慮すること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒思判表B(1)エ</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○進んで想像したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書こうとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>天に のぼった おけやさん</p>	<p>3</p>	<p>△古くから伝わっている話を,興味をもって聞き,好きなところを音読する。</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒知技(1)カ △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして,我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。⇒◎知技(3)ア □場面の様子に着目して,登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして,内容や感想などを伝え合ったり,演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆生活科:地域に伝わる昔話や神話・伝承などを調べ,興味をもつ。 ☆道徳:C伝統と文化の尊重,国や郷土を愛する態度 我が国や郷土の文化と生活に親しみ,愛着をもつこと。</p>	<p>○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして,我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。</p>	<p>○「読むこと」において,場面の様子に着目して,登場人物の行動を具体的に想像している。</p>	<p>○進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き,学習の見通しをもっておもしろかったところを発表しようとしている。</p>
<p>かたかな</p>	<p>2</p>	<p>△片仮名の書き方や使い方に慣れ,正しく使う。</p> <p>△長音,拗音,促音,撥音などの表記,助詞の「は」,「へ」及び「を」の使い方,句読点の打ち方,かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また,平仮名及び片仮名を読み,書くとともに,片仮名で書く語の種類を知り,文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し,話や文章の中で使うとともに,言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き,語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>○片仮名を読み,書くとともに,片仮名で書く語の種類を知り,文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に片仮名を読み,見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>かん字の ひろば ② かん字の よみかた</p>	<p>2</p>	<p>△漢字には,使い方によって読み方が変わるものがあることを理解する。</p> <p>△第1学年においては,別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み,漸次書き,文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し,話や文章の中で使うとともに,言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き,語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>○当該学年に配当されている漢字を読んでいる。</p>		<p>○進んで漢字を読み,今までの学習を生かして使い方によって複数の読み方がある漢字を知ろうとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>ころ ぽかぽか 手が みをかこう</p>	<p>4</p>	<p>■相手を決めて、気持ちが伝わるように手紙を書く。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒思判表◎B(1)エ</p> <p>■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)イ</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。</p>	<p>○粘り強く文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正し、学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。</p>
<p>三 ばめんの ようすを くらべて よもう</p>	<p>10</p>	<p>□人物の動きや場面の様子の楽しさを読み、読書の世界を広げる。</p>			
<p>スイミー</p>	<p>5</p>	<p>□どのようなお話か考えながら読み、おもしろかったところを紹介する。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p> <p>△読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。⇒◎知技(3)エ</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳・D生命の尊さ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。</p>	<p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p>	<p>○進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>「おはなしどうぶつえん」をつくって、本をしょうかいしよう</p>	<p>5</p>	<p>□動物の出てくる本を読んで、友達に紹介する。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒◎思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p> <p>□学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。⇒思判表C(2)ウ</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>○積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、今までの学習を生かして「おはなしどうぶつえん」を作り、本を紹介しようとしている。</p>
<p>しを たのしもう ゆき</p>	<p>1</p>	<p>△イメージの広がりや音読をとおして、詩を楽しむ。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p>	<p>○進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
<p>四 ぶんしょうと えを あわせて よもう</p>	<p>14</p>	<p>□文章と絵の対応に気をつけながら読み、いろいろな身振りが表すことを説明する文章を書く。</p>			

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

みぶりで つたえる	<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア</p> <p>△丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。⇒知技(1)キ</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>□時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。⇒思判表C(1)ア</p> <p>□文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。⇒思判表C(1)ウ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒◎思判表C(1)カ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p> <p>□事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。⇒思判表C(2)ア</p> <p>☆総合的な学習の時間・生活科など:日常生活の中で使う身振りについて振り返</p>	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○積極的に文章の内容と自分の体験とを結びつけて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
文をつくろう	<p>1 △主語と述語の関係に気をつけながら、いろいろな文を作る。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒◎知技(1)カ</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p>	○文の中における主語と述語との関係に気付いている。		○進んで文の中における主語と述語との関係に気付こうとし、学習課題に沿って簡単な文を作ろうとしている。
かん字の ひろば ③ かわる よみかた	<p>2 △使い方によって漢字の読み方が変わるものがあることを理解する。</p> <p>△第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	○当該学年に配当されている漢字を読んでいる。		○進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって読み方が変わる漢字を知ろうとしている。
五 きいた ことを 正しく つたえよう	<p>8 ◇学校で働く人に、知りたいことを尋ねて、聞いたことをメモをもとに学級の人々に知らせる。</p>			

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>学校の ことをつたえ あおう</p>		<p>△音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに, 敬体で書かれた文章に慣れること。⇒知技(1)キ ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め, 伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ◇相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えること。⇒思判表A(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて, 声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き, 話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒◎思判表A(1)エ ◇紹介や説明, 報告など伝えたいことを話したり, それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア</p>	<p>◎【知識・技能】姿勢や口形, 発声や発音に注意して話している。([知識及び技能](1)イ)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において, 伝えたい事柄や相手に応じて, 声の大きさや速さなどを工夫している。 ○「話すこと・聞くこと」において, 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き, 話の内容を捉えて感想をもっている。</p>	<p>○進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し, 今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。</p>
<p>ことばで つたえよう</p>	<p>3</p>	<p>△目の前にあるものや経験したことなどを言葉を使って言い表し, 言葉の便利さやおもしろさなどを理解する。 △言葉には, 事物の内容を表す働きや, 経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア △身近なことを表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>○言葉には, 事物の内容を表す働きや, 経験したことを伝える働きがあることに気付いている。</p>		<p>○進んで, 言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし, 学習課題に沿って言葉で表そうとしている。</p>
<p>六 つたえたい ことを おもい出して かこう</p>	<p>8</p>	<p>■経験したことや見たことを思い出し, わかりやすい文章を書く。</p>			

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>おもい出の アルバム</p>		<p>△長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>△共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒◎思判表B(1)エ</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり, 観察したことを記録したりするなど, 見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	<p>○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において, 語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において, 文章を読み返す習慣を付けているとともに, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。</p> <p>○「書くこと」において, 文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよ</p>	
<p>かん字の ひろば ④ にて いる かん字</p>	<p>3</p>	<p>△形の似た漢字を正しく読んだり, 書いたりする。</p> <p>△第1学年においては, 別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み, 漸次書き, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p>	<p>○当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。</p>		<p>○積極的に漢字を読み, 学習課題に沿って形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>しりとりで あそぼう</p>	<p>1</p>	<p>△二音節単位でつなげていく「しりとり遊び」のあることを知り, 実際に活動してみる。</p> <p>△音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>○音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。</p>		<p>○進んで音節と文字との関係に気付こうとし, 今までの学習を生かしてしりとりを楽しもうとしている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

七 ようすを おもいう かべながら よもう	15	□様子を思い浮かべて読み, 登場人物に手紙を書く。			
お手がみ		<p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒◎知技(1)カ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒知技(1)ク ■文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ □場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉えること。⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつこと。⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒◎思判表C(1)カ</p> <p>■日記や手紙を書くなど, 思ったことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)イ □読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして, 内容や感想などを伝え合ったり, 演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳:B友情, 信頼 友達と仲よくし, 助け合うこと。</p>	○文の中における主語と述語との関係に気付いている。	○「書くこと」において, 文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 ○「読むこと」において, 文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもっている。 ○「読むこと」において, 文章を読んで感じたことや分かったことを共有	○進んで文章を讀んで感じたことを共有し, 学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
こくごの がくしゅう こ れまで これから	2	<p>◇■一年間の国語学習を振り返ったり, これからの学習について考えたりして, 楽しみながら学習できるようにする。</p> <p>◇身近なことや経験したことなどから話題を決め, 伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p> <p>◇紹介や説明, 報告など伝えたいことを話したり, それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア ■身近なことや経験したことを報告したり, 観察したことを記録したりするなど, 見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>		○「話すこと・聞くこと」において, 身近なことや経験したことなどから話題を決め, 伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ○「書くこと」において, 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にしている。	○進んで話題を決め, 今までの学習を生かして思い出したことや二年生でどんな学習をしたかを共有しようとしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校



令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

教科	国語(書写)	学年	第1学年
----	--------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
がっこうの もじたんけん	1	○学校の中にはいろいろな文字があることに気づき、文字や書写学習に対する関心を高めることができる。	○校内にあるさまざまな文字に気づいている。 ○校内にある文字をカードに書いている。	○校内にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、考えている。	○校内にあるさまざまな文字を探そうとしている。
1 はじめの がくしゅう ①じを かくしせい ②えんぴつの もちかた ③たのしく かこう	1	○よい姿勢・鉛筆の持ち方を知ることができる。 ○よい姿勢・鉛筆の持ち方で、いろいろな線や形などを書き、運筆に慣れることができる。	○よい姿勢・鉛筆の持ち方がわかっている。 ○よい姿勢・鉛筆の持ち方で運筆している。	○よい姿勢・鉛筆の持ち方について考えている。	○よい姿勢・鉛筆の持ち方で書こうとしている。
2 ひらがなの がくしゅう ①せんの おわりの かきかた	1	○終筆(「とめ」と「はらい」)の書き方を理解することができる。 ○鉛筆のよい持ち方で、終筆の書き方に気をつけて書くことができる。	○終筆の書き方を理解している。 ○終筆の書き方に気をつけて書いている。	○終筆の書き方について考えている。	○終筆に気をつけて書こうとしている。 ○他の文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。
②かきじゅん	1	○正しい書き順について知り、指でなぞって確かめることができる。 ○書き順に気をつけて、正しく書くことができる。	○正しい書き順について理解している。 ○正しい書き順で書いている。	○正しい書き順について考えている。	○書き順に気をつけて書こうとしている。 ○他の書写場面でも、書き順に気をつけて書こうとする意識をもっている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

③じを かきはじめる ところ	1	○文字の始筆(書き始めるところ)の位置について,理解することができる。 ○文字の始筆の位置に気をつけて,正しく書くことができる。	○始筆の位置を理解している。 ○正しい始筆の位置で書いている。	○始筆の位置について考えている。	○始筆の位置に気をつけて書こうとしている。 ○他の文字でも,始筆の位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。
④せんの とちゅうの かきかた	2	○送筆(「まがり」「おれ・おりかえし」「むすび」)の書き方を理解することができる。 ○送筆の書き方に気をつけて,正しく書くことができる。	○送筆の書き方について理解している。 ○送筆の書き方に気をつけて書いている。	○送筆の書き方について考えている。	○送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 ○他の文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。
⑤にて いる ひら がな	2	○形が似ている平仮名について,違うところを理解することができる。 ○形が似ている平仮名について,違うところに気をつけて書くことができる。	○似ている平仮名どうしの類似点や相違点を理解している。 ○似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書いている。	○似ている平仮名どうしの類似点や相違点について考えている。	○似ている平仮名どうしの類似点や相違点を意識しながら書こうとしている。 ○他の文字でも平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書こうとする意識をもっている。
⑥ますめの なかの かく ところ	1	○拗音・促音,句読点,かぎ,濁点の書く位置や大きさを理解することができる。 ○ます目の中の書く位置に気をつけて,言葉や文章の中で正しく書くことができる。	○拗音・促音などの書く位置や大きさについて理解している。 ○拗音・促音などを正しい位置で書いている。	○拗音・促音などの書く位置や大きさについて考えている。	○拗音・促音などに気をつけて書く意識をもっている。 ○他の文字でも,拗音・促音などに気をつけて書こうとする意識をもっている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>⑦じの かたち</p>	<p>1</p>	<p>○それぞれの文字の, おおよその形を理解することができる。</p> <p>○文字の外形に気をつけて, 正しく書くことができる。</p>	<p>○文字の外形を理解し, 練習文字のまわりを「しかく」「さんかく」「まる」に囲んでいる。</p> <p>○おおよその形に気をつけて書いている。</p>	<p>○文字のおおよその形について考えている。</p>	<p>○文字のおおよその形に気づき, 学習への意欲をもっている。</p> <p>○他の文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>【レッツ・トライ】 一よこがきの かきかた</p>	<p>適時</p>	<p>○横書きの書き方を理解することができる。</p> <p>○数字の書き順と字形に気をつけて書くことができる。</p>	<p>○横書きの書き方を理解して書いている。</p>	<p>○縦書きの書き方との違いについて考えている。</p>	<p>○横書きの書き方について知り, 学習への意欲をもっている。</p> <p>○他の言葉でも, 横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>⑧ひらがなの ひょう</p>	<p>1</p>	<p>○平仮名の書き順と字形に気をつけて, 正しく書くことができる。</p>	<p>○平仮名の正しい書き順や字形について理解している。</p> <p>○平仮名の書き順や字形に気をつけて書いている。</p>	<p>○平仮名の書き順や字形について考えている。</p>	<p>○平仮名の表を見ながら, 先生や友達の名前やさまざまな言葉を書く活動に, 取り組もうとしている。</p>
<p>3 かたかなの がくしゅう ①かたかなの かきかた</p>	<p>1</p>	<p>○片仮名の終筆(「とめ」「はね」「はらい」と送筆(「おれ」「まがり」)に気をつけて, 正しく書くことができる。</p>	<p>○片仮名の終筆と送筆の書き方について理解している。</p> <p>○終筆と送筆を正しく書いている。</p>	<p>○片仮名の終筆と送筆の書き方について考えている。</p>	<p>○片仮名の終筆と送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。</p> <p>○他の片仮名の言葉でも終筆と送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>②じの かたち</p>	<p>1</p>	<p>○片仮名の外形の違いを理解して、正しく書くことができる。</p>	<p>○片仮名のおおよその形を理解している。 ○片仮名の外形に気をつけて、正しく書いている。</p>	<p>○片仮名の外形について考えている。</p>	<p>○片仮名の外形に気をつけて書こうとしている。 ○他の文字でも、文字の外形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>③にて いる じ</p>	<p>1</p>	<p>○文字の形が似ている片仮名を、点画の方向の違いを理解して、正しく書くことができる。 ○片仮名と平仮名の違いを理解して、片仮名で書く言葉を正しく書くことができる。</p>	<p>○「点」と「はらい」の方向について理解している。 ○「点」と「はらい」の方向に気をつけて書いている。 ○片仮名と平仮名の違いを理解して書いている。</p>	<p>○払う方向の違いについて考えている。 ○片仮名と平仮名の形の違いについて考えている。</p>	<p>○片仮名と平仮名の形の違いに気をつけて書こうとしている。 ○他の文字でも、片仮名の字形に気をつけて書こうとしている。</p>
<p>学しゅうの すすめかた 4 かん字の 学しゅう ①かくの おわりの かきかた</p>	<p>2</p>	<p>○漢字の終筆(「とめ」「はね」「はらい」)の書き方を理解することができる。 ○漢字の終筆(「とめ」「はね」「はらい」)の書き方に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○終筆の書き方を理解している。 ○終筆を正しく書いている。</p>	<p>○終筆の書き方について考えている。</p>	<p>○終筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 ○他の文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>②かくの とちゅうのかきかた</p>	<p>2</p>	<p>○漢字の送筆(「おれ」「まがり」「そり」)を理解することができる。 ○漢字の送筆(「おれ」「まがり」「そり」)に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○送筆の書き方について理解している。 ○送筆を正しく書いている。</p>	<p>○送筆の書き方について考えている。</p>	<p>○送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 ○他の文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

③文字の かたち	2	<p>○漢字の外形の違いを理解することができる。</p> <p>○漢字の外形の違いに気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○文字の外形を理解し、練習文字のまわりを囲んでいる。</p> <p>○外形の違いに気をつけて書いている。</p>	<p>○文字の外形の違いを考えている。</p>	<p>○文字の外形の違いに気づき、学習への意欲をもっている。</p> <p>○他の文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
④かきじゆん	2	<p>○書き順の原則(上から下へ、左から右へ、横から縦へ)を理解することができる。</p> <p>○書き順に従って、文字を正しく書くことができる。</p>	<p>○書き順の原則を理解している。</p> <p>○書き順の原則に従って、正しく書いている。</p>	<p>○書き順の原則について考えている。</p>	<p>○書き順の原則に気をつけて書こうとしている。</p> <p>○他の文字でも、書き順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
⑤かきぞめ	3	<p>○書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて、正しく書くことができる。</p> <p>○鉛筆やフェルトペンを正しく持ち、書き順や字形(「とめ」「はね」「はらい」)に気をつけて、丁寧に書くことができる。</p>	<p>○書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形について理解して書いている。</p>	<p>○書き出しの位置や、句読点を書く位置について考えている。</p> <p>○書き順や字形について考えている。</p>	<p>○書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて書こうとしている。</p> <p>○書き順や字形に気をつけて書こうとしている。</p> <p>○他の文字でも書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>⑥かくの ながさと ぼうこう</p>	<p>2</p>	<p>○画の長さの違いを理解することができる。</p> <p>○画の長さの違いに気をつけて、正しく書くことができる。</p> <p>○「おれ」の方向の違いを理解することができる。</p> <p>○「おれ」の方向の違いに気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>○画の長さの違いについて理解している。</p> <p>○「おれ」の方向の違いについて理解している。</p> <p>○画の長さに関心を持って書いている。</p> <p>○「おれ」の方向に関心を持って書いている。</p>	<p>○画の長さの違いについて考えている。</p> <p>○「おれ」の方向の違いについて考えている。</p>	<p>○画の長さに関心を持って書こうとしている。</p> <p>○「おれ」の方向の違いに関心を持って書こうとしている。</p> <p>○他の文字でも画の長さに関心を持って書こうとする意識を持っている。</p> <p>○他の文字でも「おれ」の方向に</p>
<p>【かいて つたえあおう】 ありがとうカードを かこう</p>	<p>2</p>	<p>○学習したことを生かして、字形や書き順に関心を持って、丁寧に書くことができる。</p>	<p>○カードの書き方について理解している。</p> <p>○字形や書き順に関心を持って書いている。</p>	<p>○カードの書き方について、考えている。</p>	<p>○友達に贈るカードを、相手意識をもって意欲的に書こうとしている。</p> <p>○他の学習場面においても、相手のことを考えて丁寧に書く意識を持っている。</p>
<p>学しゅうの まとめ</p>	<p>2</p>	<p>○1年間の書写学習を振り返り、学習した内容を確認することができる。</p> <p>○字形や書く位置に関心を持って、丁寧に書くことができる。</p>	<p>○文字の形や書く位置について理解している。</p> <p>○字形や書く位置に関心を持って書いている。</p>	<p>○今まで学習した内容について考えている。</p>	<p>○学習したことを生かして書こうとしている。</p> <p>○他の文章でも、字形や書く位置に関心を持って書こうとする意識を持っている。</p>

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

ひっきょうぐを えらんで かこう	適時	○書く目的に合わせた筆記用具を選ぶことができる。	○筆記用具の使い方を理解している。 ○自分の名前を丁寧に書いている。	○筆記用具の種類と用途の違いについて考えている。	○筆記用具の違いを意識して、確かめようとしている。 ○他の文字でも筆記用具の使い方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【しりたい 文字の せかい】 なんの かたちから できた かん字かな	1	○自然の形からできた漢字があることを知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。	○漢字の成り立ちについて理解している。 ○学習した漢字について、字形に気をつけて書いている。	○漢字の成り立ちについて考えている。	○漢字の成り立ちに対する興味・関心をもって書こうとしている。 ○他の漢字についても、その成り立ちについて関心をもっている。
【かん字の ひょう】 一年生で 学しゅうする かん字	1	○1年生で学習した終筆(「とめ」「はね」「はらい」)や送筆(「おれ」「まがり」「そり」)などの漢字の書き方を確かめることができる。	○終筆・送筆の書き方や、書き順や字形について理解している。 ○送筆・終筆などの違いによって、漢字の仲間集めなどをしている。	○終筆・送筆の書き方や、書き順や字形の良しあしを考えている。	○終筆・送筆の書き方や、書き順や字形を確かめようとしている。 ○他の文字でも終筆・送筆の書き方や、書き順や字形に気をつけようとする意識をもっている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

<p>しよしゃの たいそう</p>	<p>適時</p>	<p>○1年生で学習した始筆, 送筆, 終筆の書き方について, 興味・関心を高めながら確かめることができる。</p>	<p>○始筆, 送筆, 終筆の書き方について理解している。</p>	<p>○始筆, 送筆, 終筆の書き方について考えている。</p>	<p>○これまでに学習した始筆, 送筆, 終筆の書き方について確かめようとしている。 ○他の文字でも始筆, 送筆, 終筆の書き方に気をつけようとする意識をもっている。</p>
<p>【かたかなの ひょう】 水しよようしの つかいかた もくじ</p>	<p>適時</p>	<p>○片仮名の書き順や字形, 拗音・促音・音引きなどの書きまわりを確認することができる。 ○片仮名の言葉を探す活動に, 意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>○片仮名の筆順や字形について理解している。</p>	<p>○片仮名の字形や筆順について考えている。</p>	<p>○片仮名の筆順や字形を確かめている。 ○片仮名の言葉を探している。 ○常に片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。</p>